第2回市議会(定例会)

議会のうごき

被災地・被災者支援などについて論議

平成25年第2回市議会(定例会)は、5月21日～6月24日に開かれ、被災地・被災者支援などについて論議がありました。市長から提出された議案16件(人事案件や議決を要しない案件を除く)と議員提出議案14件を、それぞれ原案どおり可決しました(「議会のうごき」は、本会議の大綱質疑での論議を中心に議会事務局調査法制課(☎228・7813 FAX228・7881)で作成しています。また「議会のうごき」などの議会情報は、市ホームページ(アドレスは1ページ参照)でもご覧いただけます)。

議員の意見や議員からの質問に対する市の答弁など、論議した主な内容は次のとおりです

【政治的行為の制限】

堺市公務の政治的中立性を確保するための組織的活動の制限に関する条例案は、政治的行為と疑われるおそれのある行為を、市長、本市職員が職務として行うことを制限するものである。また、堺市職員の政治的行為の制限に関する条例案は、本市職員に対し、国家公務員並みの政治的行為の制限を課すことで、職員の政治的中立性を保障するものであり、両条例案ともに市民から信頼される市政の実現を目的とし、大阪維新の会堺市議会議員団から議員提出議案として提案があった。

両条例案に対し議員からは「市長の公務と選挙活動及び選挙活動につながる行為を混同することは、公務が税によって支えられている以上、厳に慎まなければならない」「地方公務員の政治に関する中立性は、地方公務員法で十分に担保されている」「民主主義の根幹である表現の自由、政治活動の自由に大きな委縮効果をもたらすものである」「立法目的があって初めて条例制定の必要性が生まれるが、そこが抜けている」などの意見があった。

また、両条例案を審査した総務財政委員会では「憲法の保障する政治活動の自由と職員の労働基本権の整合が問われることから、職員組織の長である市長が提案すべきである」「政治的行為などの定義も曖昧であり、明確にしたうえで再度議論すべき」などの意見があり、閉会中の継続審査とすべきとされ、本会議においても、両条例案は今議会閉会後も継続して審査することとした。

【被災地・被災者支援】

今期定例会で可決した堺市大規模災害被災地等支援基金条例案は、東日本大震災の被災地や被災者に対して、今後もきめ細かく息の長い支援活動を行うため、また今後の大規模災害に対しても迅速で柔軟な支援活動をするために基金を設置するものである。

このことについて議員からは「支援のあり方については、行政だけが考えるのではなく、市民、企業のノウハウを活(い)かせるような枠組みを検討されたい」「基金の使途については、被災地支援に加えて堺市への避難者に対する支援についての枠を作っていただきたい」などの意見があった。

【その他】

今期定例会で可決した堺市職員退職手当支給条例等の一部を改正する条例案は、退職給付に係る公民の均衡を図るため、国家公務員の退職手当制度の改正に準じて、平成25年7月から職員の退職手当の支給水準を段階的に引き下げるものである。本条例に伴う職員一人当たりの削減額は、平成25年度は約137万円、平成26年度は約275万円、平成27年度は約396万円を見込んでいる。

このことについて議員からは「職員の生活設計に多大な影響を及ぼすことから、職員が安心して勤務できるような環境の整備が必要である」「職員のモチベーションが下がらないように、しっかりと対応されたい」などの意見があった。

議員定数・報酬条例

堺市議会議員定数及び各選挙区選出議員数に関する条例の一部を改正する条例案は、次の一般選挙から堺市議会議員の定数を、現在の52人から48人に改め、これに伴い各選挙区で選出する議員の数を改めるものである。また、堺市議会議員の議員報酬の特例に関する条例案は、堺市議会議員の議員報酬の月額を平成25年7月1日から平成27年4月30日までの間、5%減額するものである。両条例案ともに、議会改革を実現すべく、議会力向上会議の中で議論を深め、今期定例会で、公明党堺市議会議員団、ソレイユ堺、自由民主党・市民クラブから議員提出議案として提案があった。

総務財政委員会と本会議において、提案会派以外の議員からは「我々の考えとかい離があるものの、これまで全く進まなかった議会改革を成し遂げていく上では、反対するものではない」「議会議員は、多種多様な住民の意思を反映し、統合調整して自治体の政策、意思を形成する上で重要な役割を担っており、これ以上の定数削減はすべきではない」「全会一致に至らないなら、定数削減は一層慎重にすべき」などの意見があった。

審議の結果、最終本会議において、堺市議会議員定数及び各選挙区選出議員数に関する条例の一部を改正する条例案を賛成多数で可決し、堺市議会議員の議員報酬の特例に関する条例案を全会一致で可決した。

意見書・決議

今議会では、次の意見書・決議を可決しました。

▼全会一致

▽駅無人化を中止・撤回し、駅有人化を義務付ける法律の整備を求める意見書

▽「原子力事故子ども・被災者支援法」に基づく施策の早期実施を求める意見書

▽給付型奨学金制度の導入を求める意見書

▼賛成多数

▽日本維新の会共同代表らによる、いわゆる従軍慰安婦問題等に関する発言の撤回及び謝罪、さらに公職の辞任を求める決議

委員会のインターネット中継開始

開かれた議会への取り組みの一環として、本会議に加え、8月定例会から常任委員会・意見陳述の可否を決める会議を除く)と特別委員会の様子をインターネットで生中継・録画中継します。

市ホームページ(アドレスは1ページ参照)からご覧になれます。

問合せ＝調査法制課(☎228・7813 FAX228・7881)へ。

傍聴できます

■市議会(8・9月)

【定例会】

▼8月

▽16日＝議会運営委員会

▽19日＝本会議、提案理由説明)、議会運営委員会

▽21日＝議会運営委員会

▽23日＝本会議、大綱質疑)▽26日＝本会議、大綱質疑・議会運営委員会(意見陳述許可・不許可の決定)▽27日＝本会議、大綱質疑・決算審査特別委員会・各常任委員会、意見陳述許可・不許可の決定)

▽29日＝市民人権委員会・産業環境委員会・決算審査特別委員会分科会

▼9月

▽2日＝建設委員会・文教委員会・決算審査特別委員会分科会▽4日＝総務財政委員会・健康福祉委員会・決算審査特別委員会分科会

【特別委員会】

▼8月

▽1日＝安全・安心なまちづくり調査特別委員会

▽2日＝次世代育成支援調査特別委員会

いずれも午前10時から(8月19日の本会議は午後1時から、8月19・26日の議会運営委員会は本会議終了後、8月27日の決算審査特別委員会は本会議終了後、同日の各常任委員会は決算審査特別委員会終了後、決算審査特別委員会分科会は各常任委員会終了後)開催の予定。会議日程は予定であり、日時を変更する場合があります。

本会議の傍聴は、傍聴席入口(市役所本館12階)で受け付け(先着80人)。手話通訳の申し込みは、傍聴したい本会議の15日前まで。

委員会の傍聴は、委員会控室(市役所本館12階)で受け付け(抽選10人)。モニター傍聴も可(8月1・2日の特別委員会は音声傍聴。定員40人。8月27日の各常任委員会を除く)。

議会運営委員会の傍聴は、議会事務局(市役所本館10階)で受け付け(抽選5人)。

全て会議開催予定時刻の30分前から受け付け開始。

本会議の生中継は、区役所のロビーなどのテレビや市ホームページ(アドレスは1ページ参照)でもご覧になれます。なお、8月定例会(8月19日～9月13日)での請願・陳情の締め切りは、8月5日です。問合せ＝議事課(☎228・7812 FAX228・7881)へ。

平成25年第2回定例会　主な議案に対する会派等の賛否一覧

○：賛成、×：賛成でない、△：会派内で賛否不一致

議案名等 ＼ 会派名等(所属議員数)	公明党堺市議会議員団(12)	大阪維新の会堺市議会議員団(11)	ソレイユ堺(10)	日本共産党堺市議会議員団(8)	自由民主党・市民クラブ(7)	会派に属さない議員①(1)	会派に属さない議員②(1)	議決結果
市長提出議案　【　】内は議案番号								
【第53号】堺市大規模災害被災地等支援基金条例／【第54号】堺市市税事務所設置条例の一部を改正する条例／【第55号】堺市立斎場条例の一部を改正する条例／【第56号】堺市動物の愛護及び管理に関する条例の一部を改正する条例／【第57号】堺市子ども・子育て会議条例／【第58号】堺市立さつき野コミュニティセンター条例の一部を改正する条例／【第59号】阪和線堺市・三国ヶ丘駅周第一今池橋架替工事の委託に関する協定について／【第65号】堺市・美原町合併新市建設計画の一部変更について／【第66号】平成25年度堺市一般会計補正予算(第1号)／【第69号】堺市職員退職手当支給条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案　【　】内は議員提出議案番号								
【第19号】堺市議会議員定数及び各選挙区選出議員数に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	×	×	可決
【第20号】堺市議会議員の議員報酬の特例に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
【第21号】堺市公務の政治的中立性を確保するための組織的活動の制限に関する条例／【第22号】堺市職員の政治的行為の制限に関する条例	○	○	○	×	○	×	×	閉会中の継続審査とすることに

会派に属さない議員　①…田中丈悦議員、②…長谷川俊英議員

◆議長は、地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わらない。